

雪むかしむかし

**冬のくらしの達人発見！** <単元の流れ>  
(総合的な学習の時間 10時間扱い)

実施時期について：12月～1月ころ。冬休みの帰省も聞き取りや調査のチャンスとなります。

「雪たんけん館」のホームページをきっかけやヒントにして、むかしの冬のくらしについて調べていく学習です。当ホームページだけで学習を終わらせるのではなく、自分たちでも地域の人や親類に話を聞いたり、いろいろな調べ学習をしたりする発展的な流れを考えています。

**01.今とむかしの冬のくらしの違いを見つけよう** 1時間

▶▶ 授業の詳細

**02.ホームページを見てみよう** 1時間

- ・ ホームページ「雪たんけん館」を見てみよう
- ・ 「雪むかしむかし」のコーナーで、いろいろな冬のくらしの工夫を発見しよう  
こんなにくらしの工夫をしていたむかしの人は、冬のくらしの達人だ。すごいね。
- ホームページ「雪たんけん館」雪と暮らそう  
[http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life\\_.html](http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life_.html)  
★ コンピュータの保有実態に合わせて時間を設置。一斉型・自由型を工夫して行う。現在の様子との比較も可能。くらし方や工夫など、地域差や家庭差があることもどこかでおさえておきたい。

**03.むかしの人はすごい！冬のくらしの達人をさがそう！** 3時間

- ・ むかしの冬のくらしを調べる計画を立てよう  
いつ どこで だれに どんなことを
- ・ むかしの冬のくらしを調べに行こう  
私たちの地域にも冬のくらしの達人がいたよ！
- ★ 子供たちの既知事項、「雪むかしむかし」のページをヒントに調査の項目を作る。項目は地域の実態に合わせて作るとよい。調査は、地域や児童の実態に合わせて、一斉型聞き取り・訪問型・探検型を選択して取り組む。地域の人材、博物館などの施設をうまく利用していきたい。学校との連携準備の整っている博物館もあるので、連絡を取り活用したい。(資料提供・ゲストティーチャーなど)
- 地域のお年寄りからの聞き取り  
■ 博物館の利用

**04.自分の「雪むかしむかし」のページを作ってみよう** 3時間

- ・ 自分の調べたことを、わかりやすくまとめよう
- ・ 発表の準備をしよう
- ★ 児童の実態に合わせた表現の方法を。(実態によってはパソコンの利用も考えられる)一枚の紙面に絵や写真と説明の文で構成するつもりで。構成の思いつかない児童は「雪むかしむかし」のページを見てイメージを作りながら。

**05.私たちの見つけた『雪むかしむかし』の発表会をしよう** 2時間

- ・ 自分が見つけた『雪むかしむかし』を発表しよう  
いろんなことがわかったよ  
私たちの地域の冬の暮らしの達人はこんなことをしていたよ
- ★ 近隣のお年寄りを招いて、発表会&交流会など工夫してみてどうか。わらをなつて、正月飾りを作る、火鉢を囲んで、もちをあぶり、大豆を石臼でひいてきな粉を作り・・・などの雰囲気作りも楽しいのでは。むかしのくらしを体験・実感しながら話をするのもよい経験となるだろう。道具が地域や学校で用意できなければ、博物館などで貸し出しの準備がある場合もある。事前に相談の機会を持ちたい。

## 冬のくらしの達人発見！（総合的な学習の時間10時間扱い）

日時 平成15年2月17日 13:30～50（公開授業1）  
 児童 北海道教育大学附属札幌小学校 3年2組41名  
 教諭 札幌市立白楊小学校 藤原 恵美

### ちょっと一言

子供が調べ学習をするための、課題づくりの導入です。（約20分）  
 雪たんけん館と`むしろ`を使って、「昔の冬のくらし」への興味を高めることがねらいです。

### <単元の目標>

- さまざまな人にかかわりを持ちながら昔の冬のくらしについて調べたり表現したりしようとする。  
 （興味、関心、意欲に関する目標）
- 調べたいことを見つけ、調べ方や表し方を工夫して取り組もうとする。  
 （問題発見、追求に関する目標）
- 調査や表現の取り組みの中で、自分や友達のよさに気づく。
- さまざまな人が冬や雪の中でいろいろな工夫しながらくらししていたことに気づく。  
 （生き方や見方考え方、気づきに関する目標）

### <本時の目標>

- 昔と現在の冬のくらしの違いに興味をもち比べ、自分も家族や地域の人などに関わりながら調べようとする。

### <本時の展開（1/10）>

- 雪たんけん館から次のページを続けて表示。  
 →「雪と暮らそう」[http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life\\_.html](http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life_.html)  
 一番手前の家をクリックすると「雪むかしむかし」のコーナーに入る。

今の家の中と昔の家の中の絵を表示



今と比べて、昔の冬のくらしのようすはどんなところが違うかな？

- ・着物を重ねて着ているよ。寒いのかな。
- ・ストーブが違う。ストーブの横にある箱のようなものは何かな。
- ・窓のところが寒そう。
- ・馬が走っているよ。何か引っぱってるのかな。
- ・おじいちゃんやおばあちゃんにも聞いたことがあるよ。

冬のくらしについてお家の人に聞いたり、本やテレビで見たりしたことがあったら教えて下さい。

- ・家、ストーブ
- ・着るもの
- ・遊び、スポーツ
- ・その他

### ■むしろの実物を提示

このむしろも、冬に使ったんだよ。何に使ったのかな？

- ・知っているよ、今でも冬がこいに使うよ。
- ・寒い時に、体にまいていたんじゃないかな。
- ・ふとんのかわりかな。
- ・たたみのかわりかな。

### ■雪たんけん館のページを視聴させる。

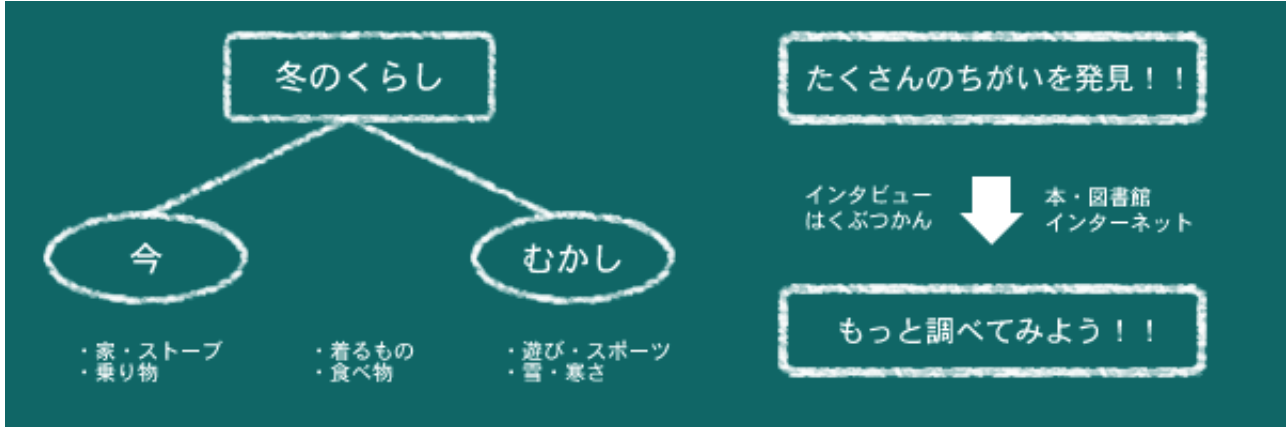
- 「昔のお話を聞こう」[http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life\\_.html](http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life_.html)
- ・グラウンドへの通路をつくるとは思わなかったよ。
- ・雪の上を上手く歩けるのかな。すごいな。やってみたいな。

昔の冬の暮らしには、面白いことがいっぱいありそうだね。  
もっと調べて、友達と発表会をしよう！

- ・誰に聞いたり，どこで調べたりしたらいいかな？
- ・何のことを調べてみたいかな？

調べ方や調べる内容を交流することにより，子供に調べる見通しをもたせる。  
分かったことを掲示するコーナーや，報告する時間をとるのもよい。

<板書例>



ようこそ

# 「雪と暮らそう-雪むかしむかし-」

のコーナーへ

[http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life\\_.html](http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/life_.html)

## ＜当コーナーへの入り方＞

- 北海道雪たんけん館・トップページ<http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/>で「雪と暮らそう」をクリック
- 「雪と暮らそう」の画面の一番手の家にポインタを当ててクリック
- 「雪むかしむかし」のコーナーへ（あとは画面に指示に従ってください）

## ＜本時で使った資料＞

- 北海道雪たんけん館・トップページ<http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/>から「雪の総合研究室」へ（後日アップする予定です）

当コーナーは、子供たちが「昔の冬の暮らし」に興味をもち調べることができるようにという願いをもつて作りました。

人々が厳しい雪や寒さとうまく向き合い、どのような工夫をしながら生きてきたのか。私たちが受け継いでいくべきことはないのか。それらを調べたり、考えたりするきっかけになればと思っています。



今と昔  
冬のくらしの比較



## ◆昔の人は どのように冬をすごしていたのかな？◆



4.えんばくの茎を何本かたてる  
(空気のかわり)

アニメーション  
イラスト  
音声・効果音で  
イメージ化

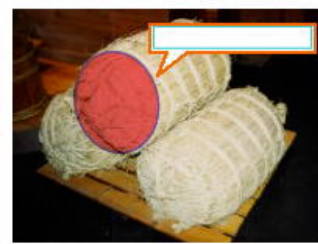


4.ムシロをかける



たんぜん  
写真提供：北海道開拓の村

資料・情報  
博物館との連携



たわら  
写真提供：北海道開拓の村

昨年は6名の方のご協力いただき22のお話をおさめました。今年も取材活動を始めています。今後も、北海道各地の「冬の暮らし」のお話を増やしていこうと考えています。興味のある方はぜひご参加ください。